

小学校（3・4年生）  
3月  
最後の挑戦

一人一人の感想や印象を自由に表現する場を作る。それにより、活動に対する振り返りを行い、気づいたことを確認し、共有する。また、より現実的な課題について考える機会とする。

活動の実際

<AHA体験> 手のひらボールペン	
準備物	ボールペン（長いものなら何でもよい）
活 動 内 容	支援及び留意点
①両手のひらを合わせて、親指の付け根にボールペンをはさむ。 ②手のひらをこすり合わせるように回す。 ③ボールペンが両手の内に収まっている。	○実際にやりながら、やり方をまねてもらう。 ○よく見ると、ボールペン向きが変わっている。
<発展> ○両手の内に収まった人は、元に戻して、両手のひらを合わせてみる。	
<ふりかえりの視点> ○なかなかできない時、どんな行動を起こした？ ○うまくできた時、どんな行動を起こした？	
<比喩（メタファー）> ○「まねる」ということの大切さに気づく。	

カメラ	
準備物	なし
活 動 内 容	支援及び留意点
①2人組になる。 ②1人が目をつぶってカメラになる。 ③もう一人がカメラマンになり、適当な場所に連れて行く。 ④カメラマンはターゲットを決め、カメラの肩をたたく。カメラは一瞬目をあけ、またすぐにつぶる（シャッターがおりる）。 ⑤何枚か撮影したら、元の場所に戻り、撮影した写真について話し合う。 ⑥カメラ役はどこの写真を撮ったのかを推測して示す。 ⑦役割を交代する。	○カメラが目をあけるのは、できるだけ短い時間にする。 ○写真は1枚から始め、後の数枚は組ごとに決める。 ○見方の違いの確認にもなる。
<発展> ○カメラマンはテーマを決めて写真を撮り、カメラ役は写真のテーマを当てる。	
<ふりかえりの視点> ○カメラとカメラマンの写真が同じだった [違った] 時の気持ちは？	



サンクス	
準備物	なし

活 動 内 容	支援及び留意点
①活動について、いろいろな場面を思い出す。 ②その中で一人一人に対して感謝したいことを考える。 ③指導者が例示する。 ④初めの1人が全員に対して言う。 ⑤1人ずつ順に言う。	○学級で1年間の最後に行く。 ○感謝することがすぐ思い浮かぶような学級づくりを心掛ける。 ○他人の自分に対する評価を聞くことによって、自己評価が高まる。 ○10人なら、 $10 \times 9 = 90$ 回の発言となる。
<発展> ○感謝したいことを紙に書いて渡す。 ○1人の人にスポットをあて、その人に対して他の全員が感謝したいことを言う。	
<ねらい> ○他者の指摘によって、自分のいい所を見つけること。	



ふりかえり	
準備物	玉、箱
活 動 内 容	支援及び留意点
①1人1人が、1年の初めに学級がうまくいくために必要だと感じたことを再確認する。 ②箱を回し、1人が1つずつ玉を取っていく。 ③今後大切にしたいことを言いながら、玉を箱に入れていく。 ④言い終わったら、次に回す。 ⑤全員が終了したら、再び箱を回す。	○目標づくりやルールづくりで作った物を見ながら、思い出す。 ○玉はボールでも、木の実でも、ビー玉でもよい。箱の大きさも自由。 ○「共有する」ための作業である。
<発展> ○箱をそれぞれの両足を使って回す。 ○箱をそれぞれの片足を使って回す。	
<ねらい> ○この1年間で達成できたこととできなかったことをふりかえり、これからの自分の生活に生かしていく。	



マヒアヒ	
準備物	なし
活 動 内 容	支援及び留意点
①全員で輪になる。 ②「マヒアヒー、マヒアフー、マヒアヘー、マヒア、アッハー！」と言いながら、みんなで簡単な振り付けを考える。 ③②を数回繰り返す。	○最後にみんなで1つになる活動 ○みんなでやれば、恥ずかしくないかも。 ○恥ずかしい人もいるので、教室の窓は閉めた方がいいかも。 ○段々テンポが速くなるので、疲れ切る前に終了するとよい。通常3回ぐらい。
<発展> ○「ワムサムサム、ワムサムサム、グイグイグイグイ、ワムサムサム、アラーメン、アラーメン、グイグイグイグイ、ワムサムサム！」×3回	
<ねらい> ○最後にみんなで1つになることで、次の学年に向けて旅立つ勇気を貰う。	